

山形県立新庄養護学校高等部総合コース1年 国語科

思い出を文章に残そう～作文の構成をイメージしよう～



日 時：令和7年11月12日（水）9：40～10：30

場 所：高等部1組教室

対 象：高等部総合コース1年 5名

授業者：菅野 晋太郎 教諭

1 主に活用した機器・コンテンツ

- ・一人一台タブレット（iPad）
- ・液晶モニター
- ・AppleTV
- ・二次元コード
- ・Google Workspace for Education コアサービス名称一覧（・Google Classroom ・Google ドライブ）
- ・Canva Education 主な機能名称一覧（・プレゼンテーションテンプレート、テキスト、写真）

2 授業

(1) 本時の目標

○書きたいことを明確にし、筋道の通った文章として表現できる。

【思考力、判断力、表現力】

○自分の経験をふり返り、書くことや伝えることの楽しさを感じながら、進んで表現しようとする。

【学びに向かう力、人間性等】

(2) 指導過程

時間※1	●主な学習活動	○ICT 活用ポイント、留意点	使用機器 コンテンツ	情報活用能力※2
導入 5分	●学習内容の確認 ●課題の確認	○指示があるまでタブレットは触らないようにルールを確認する。		A3②c ステップ1 コンピュータなどを利用するときの基本的なルール
展開 40分 一斉 A1 個別 B1 B4 協働 C3	●スライドに出来事と感想を入力する。	<p>○ICT 活用ポイント1 Google Classroom で、Canva の共同編集用スライドを課題として配信する。</p> <p>○ICT 活用ポイント2 タブレットを使い、入力方法を多様化することで、「書くこと」への心理的負担を軽減し、内容の構成や表現に集中して取り組むことができるようにする。</p> <p>○ICT 活用ポイント3 Canva のスライド機能で、文章の構成を「はじめ」「なか」「おわり」のスライドに分けてまとめる。出来事を順序立てて整理し、作文の流れをイメージしながら準備を進めることができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一人1台 端末 ・Google Classroom ・AppleTV ・Canva （スライドテンプレート、テキスト、写真）	A1①c ステップ3 目的に応じたアプリケーションの選択と操作 A1①a ステップ2 キーボードなどによる文字の正しい入力 A1①d ステップ4 手順を図示する方法 A2①g ステップ2 自他の情報を組み合わせて表現する方法 C1①c ステップ1 情報の活用を振り返り、良さを見つけようとする。
まとめ	●次回予告			

3 ICT 活用ポイント

ICT 活用ポイント1 B1個に応じた学習

Google Classroom を活用し、Canva の共同編集用スライドを課題として配信する。生徒は Google クラスルーム上で課題を開き、指示されたリンクから Canva を起動して活動を進める。課題を通じて、学習の手順を明確にし、個々が見通しをもって活動に取り組めるようにする。

A1①c ステップ3 (目的に応じたアプリケーションの選択と操作)

ICT 活用ポイント2 B1個に応じた学習B4表現・制作C3協働制作

Canva のスライド機能を活用し、文章の構成を「はじめ」「なか」「おわり」の3枚のスライドに分けてまとめる。各スライドには、その場面での出来事や感じたことを短い文で入力する。この活動を通して、出来事を順序立てて整理し、作文の流れをイメージしながら準備を進めることができるようにする。Canva のスライド機能を使用して、クラスメイトが Canva に打ち込んだものを見ることができるので、書き方を参考に学びを深めることができるようにする。

- (1) Canva で好きなテンプレートを選ぶ。
- (2) テンプレートを「はじめ」「なか」「おわり」に分ける。
- (3) 場面ごとに出来事と感じたことを短文でまとめていく。
- (4) 思い出せるように写真も添えて入力を行う。
- (5) クラスメイトの作成の様子も見ることができるので、必要であれば参考にして活動を進める。



テンプレートを「はじめ」「なか」「おわり」に分けて、出来事や感じたことを入力する。



ここをスライドすると自分のスライドを選んだり、クラスメイトの様子を見ることができたりする。

A1①d ステップ4 (手順を図示する方法)

A2①g ステップ2 (自他の情報を組み合わせて表現する方法)

4 活用の成果

- ・構成の理解が深まり、見通しをもって表現できるようになった。
Canva のスライドを「はじめ」「なか」「おわり」に分けて整理することで、出来事の順序や文章の流れを視覚的に捉えやすくなった。生徒は「どこから書けばよいかわからない」という困り感が軽減し、作文の構想段階で見通しをもって取り組む姿が見られた。
- ・書字の困難がある生徒も、自分の考えを表現できるようになった。
タブレットによる入力を用いることで、文字を書く負担が軽減され、内容の整理や表現に集中できるようになった。書くことに苦手意識をもっていた生徒も、自分の言葉で短文を入力し、意欲的に活動に参加する姿が見られた。
- ・協働的な学びが促進された。
Google Classroom で課題を共有し、Canva の共同編集機能を用いたことで、互いの表現を見合い、伝え合う学びが生まれた。他者の意見を参考に自分のスライドを改善するなど、主体的な学習態度が育まれた。